

令和 7 年第 9 回
土岐市教育委員会定例会会議録

土 岐 市 教 育 委 員 会

令和 7 年第 9 回土岐市教育委員会定例会議事日程

令和 7 年 9 月 2 6 日（金曜日）午後 3 時 0 0 分開議

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 日程第 2 令和 7 年第 8 回土岐市教育委員会定例会会議録の承認
- 日程第 3 議第 1 5 号 教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について・・・・・・・・・・・・・・・・
- 日程第 4 報第 1 0 号 土岐市会計年度任用職員の任用について・・・・・・・・
- 日程第 5 教育長報告

本日の出席者

教	育	長	長谷川	広	和
委		員	大	橋	廣
委		員	加	藤	幸
委		員	大	野	良

説明のため出席した職員

事務局長兼教育総務課長	西	部	浩	司
教育次長兼学校教育課長兼				
教育研究所長兼教育支援センター所長	西	尾		実
給食センター所長	林		孝	子
教育総務課主幹兼課長補佐兼教育総務係長	桒	岡	真	弓子
学校教育課課長補佐	内	海	裕	樹
学校教育課副主幹兼教育支援センター副所長	保	母	征	之
教育研究所主任	早	瀬	浩	孝

- | | |
|---------------|----|
| ・会議の傍聴人 | なし |
| ・会議に遅参した者 | なし |
| ・会議の公開、非公開の状況 | 公開 |
| ・教育長報告 | あり |

場所 土岐市役所 大会議室 2 A

会議録作成者

事務局長兼教育総務課長	西	部	浩	司
-------------	---	---	---	---

開 会 午後 3 時 0 3 分

長谷川教育長

定刻より遅くなりました。

委員の皆様にはお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

35℃を超える猛暑日が昨年は50日でしたが、今年はどうも59日くらいになっているとの話で、年々増えるのではないかと思っていますが、運動会の時期でもあり暑さを心配していましたが、さすがにお彼岸も過ぎて少し涼しくなっているところだと思います。昨年もそうでしたが窓を開けていると子どもたちの歓声が聞こえてきて、小学校の運動会が近づいていて、コロナが明けて子どもたちが元気にやっている姿は我々にも元気をいただいているところだと思います。

大橋先生にはいつも学校に寄り添っていただきながら、いつも私たちに大切なポイントをお示しいただきました。豊富なご経験があり、そして豊かな見識もありましたので、バランス感覚に非常に富んだ先生でございましたので、教育委員会の舵取りをしていただきましたことを、本当にありがたいと思っています。先生の言葉にはいつも子どもたちに対し愛情に溢れていまして、さらには数年後の先の未来のようなものを見ながらご指導いただきました。寂しいですが、これからは是非ご指導いただければと思っています。今日は節目ということで、後ほど先生からたっぷりお話をいただきたいと思います。

では、本日は夢絆プランの執行状況の点検評価を取り上げさせていただきますのでよろしくお願いします。

それでは只今より令和7年第9回土岐市教育委員会定例会を開催させていただきます。

日程第1会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、会議規則第15条第2項の規定により、私から、加藤幸代委員を指名させていただきます。

次に日程第2、令和7年第8回土岐市教育委員会定例会会議録の内容について承認を求めます。会議録の内容についてはご異議ございませんか。

委員一同

異議なし

長谷川教育長

ありがとうございます。異議なしと認めます。

次に日程第3、本日の中心的な内容ですが、議第15号教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価についてを議題といたします。本件について事務局の説明を求めます。

西部事務局長お願いします。

西部事務局長

《説明》

長谷川教育長

では一方的に説明させていただきましたが、これより質疑、討論を行います。

質疑、討論はございますでしょうか。

大橋委員

議会には教育委員の意見を添えて出すのですか。

長谷川教育長

教育委員さんの意見は出しません。

大橋委員

大変な作業、お疲れ様でした。

加藤委員

19ページ上段の「不登校の未然防止と迅速な組織的な対応」は充分に取り組んでいただいております、A評価でもいいと思います。

大橋委員

日頃から教育委員会の先生方は頑張っているのもっとA評価が多くてもいいと思うが。

大野委員

25ページの「土岐市PTA連合会の活動に対する支援」ですが現状はどうですか。PTAを無しにしたかどうかとか、役員を担い

手が少ないと聞いていますが。

大橋委員

P T Aはどこもいろいろと問題を抱えていると思いますが、市の判断でP T Aを廃止することはできるのですか。

西尾教育次長

P T Aの活動が義務的であったものが、役員の担い手が難しくなっているところが多くなってきていますが、そもそもP T Aは任意団体で、学校の支援団体の一つなので必ず加入しなければいけないことはなく、加入されない保護者が増えてきています。市P連の会議では、地域の有志をP T A活動に参加いただくよう考えていくべきではないか、という意見も出てきています。新たな形で地域を取り込んでいく必要があると学校も一緒に考えていかなければならないと考えています。

大野委員

資源回収はP T A活動ですよ。そうした資金が吹奏楽等に活用されているということを今の親さんはわかっているのでしょうか。

長谷川教育長

わかってみえると思いますが、負担が増えることに抵抗があるようです。資源回収に対する取り組みでも、随分差がありまして、回収ではなく学校に持ち込む形のところもあり、それで得られる額は大変少なくなっています。

泉地区では小中学校合同でやったらどうか、との提案が出ていますがなかなか上手くいっていません。

大野委員

資源回収では回数は影響しますか。

長谷川教育長

以前に比べ量が減っているので、何回か実施しないと収入が確保できなくなっています。

大橋委員

P T Aがこれからどうなるのか。先程の話のように地域で学校を支えるような形に代わっていくのかなと思います。

長谷川教育長

コミュニティスクールの仕組みの中に保護者が入るような仕組みで行っていくというのがすんなりいく方法かと思います。あと、単Pでの取組は頑張っていこうという役員さんは多くおみえですが、県Pに所属する必要があるのか疑問をもつ方もおみえになります。2年前、河合さんが生涯学習にいた頃、県に脱退できないか相談したが出来なかったと聞いています。

大橋委員

今後少子化が進み、P T Aに協力しない保護者が増えていくとなると、新たな仕組みが必要になると思います。教育長さんがこれから県内でも話題になるようなP T A改革をされることを期待しています。

加藤委員

世間では子どもファーストであまりにも優遇されるため、その親たちが面倒なことを避けるようになることが懸念されます。

大橋委員

教育長に期待します。

長谷川教育長

幼稚園こども園から保護者の関わり方を積み上げて中学に至るまでどう地域と絡めていくかを考えないと難しいと思いますので、大橋先生のご支援をお願いします。

大橋委員

幼稚園の親は子どもに一生懸命なので、P T Aもしっかりやってくれるが、中学校くらいになると離れていく。幼児から小学校くらいまでの親を育てる必要がある。

長谷川教育長

ご意見ありがとうございます。来年はもっとA評価が増えるよう

取り組みます。それでは終結してよろしいでしょうか。続いて採決を行います。

議第15号教育委員会に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価については原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

委員一同

異議なし

長谷川教育長

異議なしということで、議第15号議案については原案のとおり可決することに決しました。

続きまして、日程第4、報第10号、土岐市会計年度任用職員の任用についてを議題とします。本件について事務局の説明を求めます。

西尾教育次長お願いします。

西尾教育次長

《説明》

長谷川教育長

調子が悪くなった方等がありまして、その関係で任用することになりました。では、これより質疑討論を行います。

質疑討論はございませんでしょうか。

では終結をさせていただきます。

それでは、報第10号 土岐市会計年度任用職員の任用については、ご承知おきいただきますようよろしくお願いします。

では最後に日程第5、教育長報告でございました。

今月ですが、月の初めの休みの日に、科学作品、発明工夫、社会科課題追究学習作品、読書感想文、あと今年からオリジナル給食料理という給食センターの事業も一斉にセラトピアで表彰式を実施させていただきました。

オリジナル給食はこれまでは、受賞する最優秀の子の学校に行つて、給食を食べながら、その子に表彰するというような形をとって

おりましたが、今回はより多くの人に称えていただけるような機会にというような思いがありまして、他の作品展と一緒に表彰させていただいたところです。

作品の展示もありましたので、とても良かったのではないかなというふうに考えているところです。

私も作品等を見させてもらいましたけれども、企画としては、厚みといいますか量はすごく減っています。ただ目の付けどころ面白いなって感じる作品が多かったです。

低学年でいうと生き物であるとか、遊び、おもちゃみたいなものと直接関わって、そこから疑問を持ったり、グミであるとかブラウニーというチョコのお菓子みたいなものを、どういうふうに工夫して美味しく、それも膨らんで作れるかというような工夫をしてみたりとか、最近の備蓄米であるとか、熱中症といった社会問題についても、子どもなりにアプローチしていくというような、そんな作品があって子どもらしい発想が見えたのがとても良かったと思います。

表彰者の参加率も非常に高く、親さんも一緒にたくさん参加していただきましたので、本当にありがたかったです。

加えて東濃審査の科学作品や社会課題も、土岐の作品から県に出品する作品が幾つも選ばれているような状況で、先ほど話しました能力開花講座なども人数は少なかったのですが、こういう取り組みが、成果として少しずつ現れているのではないかとと思っています。

いずれにしても、表彰という場ですけれども、子どもたちにとっても、保護者の皆さんにとっても、取り組んできたところの成果を実感する機会でありましたので、子どもたちが頑張ったこと、自分の中に少し光るもの、そういったものを自覚して、次の自信につなげていくような大事な機会を、これからも大切にしていきたいと思っています。

10月は教育長訪問、教育委員会訪問が入って参りますが、新たに小林委員林委員をお迎えして、新たにスタートさせていただきたいと思っておりますし、加えて、教育振興基本計画の新たな作成という、多くの課題でありますので、またよろしくお願いしたいと思っております。私からは以上になります。

では本日の日程を全部終了しました。これをもちまして令和7年第9回土岐市教育委員会定例会を閉会させていただきます。

閉 会 午後3時41分